

## 愛知県住宅供給公社事後審査方式一般競争入札実施要領

### (目的)

第1条 この要領は、愛知県住宅供給公社が実施する建設工事の競争入札において、入札参加者の技術的能力の審査に係る事務の効率化及び入札参加者の手続の負担軽減を図るため、入札後落札決定までに、落札候補者の工事の経験、施工状況及び配置予定技術者の経験等の入札参加資格を審査する方式について、愛知県住宅供給公社一般競争入札実施要領等に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

### (対象工事)

第2条 本要領により実施する対象工事は、一般競争入札により実施する建設工事のうちから理事長が決定する。

### (入札参加資格の申込)

第3条 入札に参加しようとする者は、入札公告に示す受付期限までに、入札参加申込書（様式1）を提出するものとする。また、設計図書が有償配布のみの場合は、入札参加申込書と併せて設計図書有償配布申込書を提出するものとする。

2 理事長は、入札参加申込書の提出があった場合は速やかに受け付けるものとし、入札参加資格の確認は、開札後、落札候補者に対して実施する旨を公告において明らかにするものとする。

### (入札)

第4条 入札参加者は、電子入札によらない入札の場合は、入札会場において受付印のある入札参加申込書を提示し、入札執行者の確認を受けるものとする。

### (開札)

第5条 入札執行者は、開札後、入札参加者全員の入札書記載金額及び入札者名を読み上げ、落札決定を保留し、最低価格による入札者から順に入札参加資格の審査をしたうえで落札者を決定する旨の宣言をし、開札を終了するものとする。

2 入札金額が基準価格を下回る場合は、前項の審査とともに低入札価格調査を実施する旨を合わせて宣言するものとする。

3 最低制限価格を設定した工事の入札の場合は、開札後、入札参加者全員の入札書記載金額及び入札者名を読み上げ、落札決定を保留し、最低制限価格以上の価格を入札書に記載した者のうち、最低価格による入札者から順に入札参加資格の審査をしたうえで落札者を決定する旨の宣言をし、開札を終了するものとする。

4 電子入札による場合は、前3号の宣言に代え、入札参加者全員に対して落札候補者決定通知書を送信するものとする。

### (開札後の審査)

第6条 入札執行者は、落札候補者に対し、開札日から2日（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関す

る法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）を除く。）以内に、入札参加資格の事後審査に必要な書類（様式第2）を持参により提出させ、理事長は、速やかにこれを審査するものとする。

- 2 開札日以降、落札決定までの間に入札参加資格を満たさなくなった者は落札候補者となることができない。
- 3 落札候補者が第1項の期限までに書類を提出しない場合は、当該落札候補者は入札参加資格を満たさないものとみなす。
- 4 理事長は、前項に該当する場合又は審査の結果、落札候補者が入札参加資格を満たさないことが判明した場合は、適格者が確認できるまで、次順位の落札候補者に対して第1項の手続きを行うものとする。この場合においては、開札日を、上位の落札候補者の審査が終了した日と読み替えるものとする。

（工事指名業者審査会議の承認）

第7条 愛知県住宅供給公社工事指名業者審査会議は、審査結果調書（様式第3）により落札候補者が一般競争入札の参加資格を満たしていることを審査し、承認するものとする。

（落札決定等の通知）

第8条 理事長は、前条の審査結果承認後、速やかに落札者を決定し、入札参加者全員に対して、落札者決定通知書（様式第4）により通知するとともに、審査の結果、落札者とならなかった者に対して、入札参加資格不適合通知書（様式第5）により通知するものとする。

- 2 前項の入札参加資格不適合通知書を受理した者が当該通知に不服のある場合は、当該通知が到達した日の翌日から起算して5日（日曜日、土曜日及び休日は含まない。）以内に、書面（様式第6）により、理事長に対して当該入札参加資格要件を満たさないと認めた理由について説明を求められることができる。
- 3 理事長は、前項の説明を求められた場合は、受理した日の翌日から起算して5日（日曜日、土曜日及び休日は含まない。）以内に、書面（様式第7）により回答するものとする。
- 4 第2項の申立は、開札以降の事務の執行を妨げないものとする。

附 則

この要領は、平成21年4月1日から施行する。